

# 令和6年度 学校評価アンケート結果

吉野川市立鴨島第一中学校

## 1 アンケート実施状況

### (1) 実施日

令和7年1月20日(火)～2月7日(金) ※Web上での回答

### (2) 回答数

ア 生徒 268名 回答率 77.0% (昨年度 88.3%)

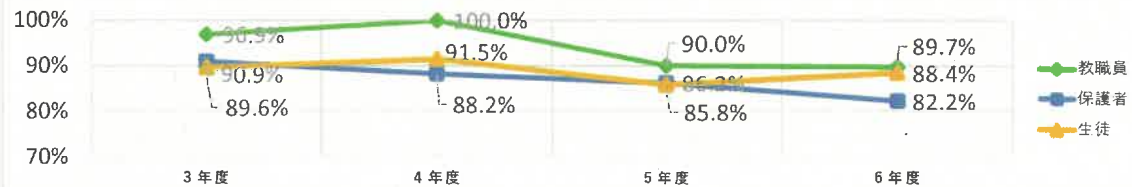
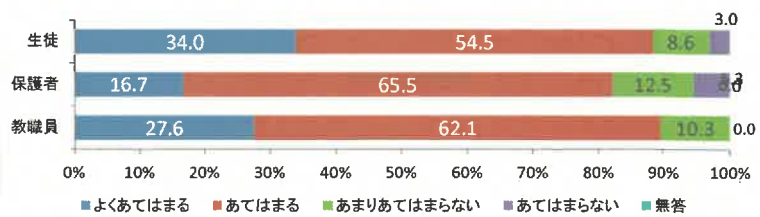
イ 保護者 281名 回答率 87.8% (昨年度 72.7%)

ウ 教職員 29名 回答率 100.0% (昨年度 100.0%)

## 2 集計結果

### ① 生徒は、授業にまじめに取り組んでいる。

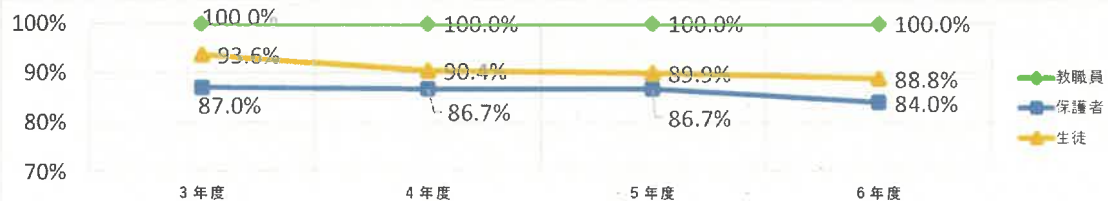
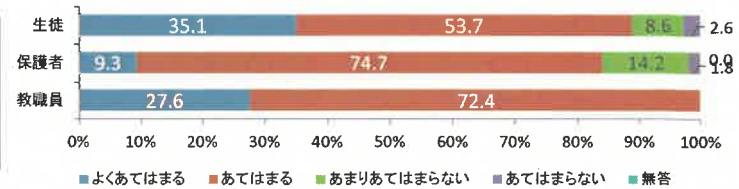
	あてはまる	あてはまらない
生徒	88.4%	11.6%
保護者	82.2%	17.8%
教職員	89.7%	10.3%



三者ともに「あてはまる」が90%を下回っており、やや学習意欲の低下を感じる結果となっている。授業を真剣に受けようとする生徒が多い反面、私語や居眠りをする等、授業に対する集中力に欠ける状況から「あてはまらない」と回答したことが考えられる。学習規律の徹底とともに、授業をしっかりと聞く姿勢を身につけることが、確かな学力を定着するうえで必須である。またタブレット端末の積極的な活用等、わかる授業を展開するためにより一層、創意工夫に努めたい。

### ② 先生は、教え方を工夫して、わかりやすい授業をしている。

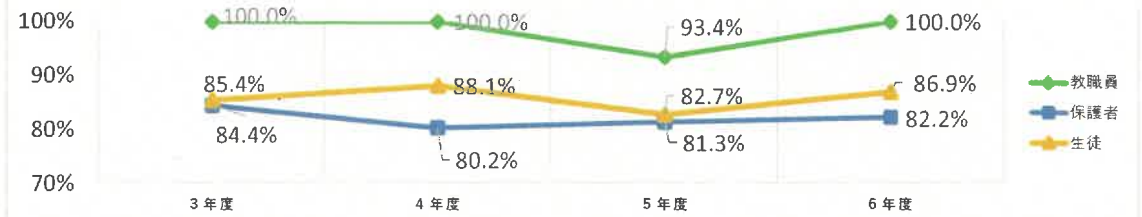
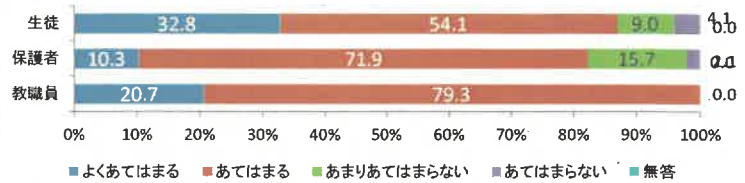
	あてはまる	あてはまらない
生徒	88.8%	11.2%
保護者	84.0%	16.0%
教職員	100.0%	0.0%



教職員は高い割合の肯定群となっているが、生徒、保護者ともに「あてはまらない」と感じている割合が、昨年度よりも高くなっている。ICTの効果的な活用等、学力向上につながる授業を展開するとともに、生徒の興味・関心につながる授業の構築に努める必要がある。

③ 学校は、適切な量の宿題を出し、家庭学習が続くように指導している。

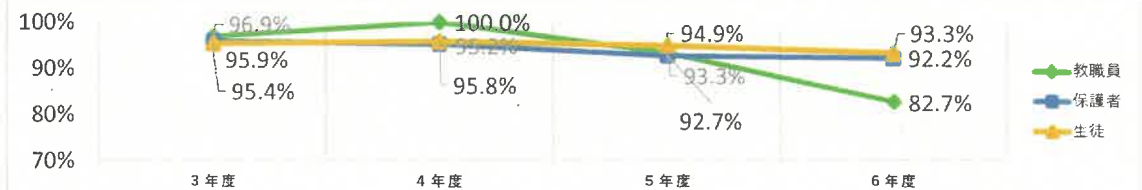
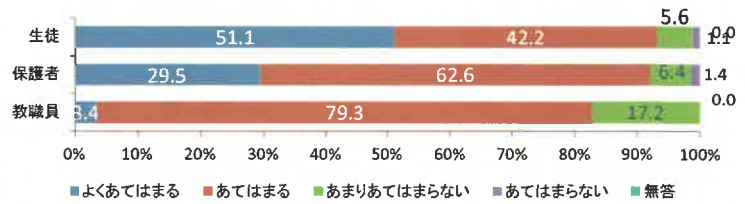
	あてはまる	あてはまらない
生徒	86.9%	13.1%
保護者	82.2%	17.8%
教職員	100.0%	0.0%



三者ともに昨年度よりも割合が向上している。今後も宿題を含む家庭学習の仕方を指導していくとともに、宿題以外の課題を見つけたり、予習復習の徹底等、家庭学習の充実につながるよう指導していきたい。

④ 生徒は、集団生活に必要なきまり（交通ルールやスクールルール）を守っている。

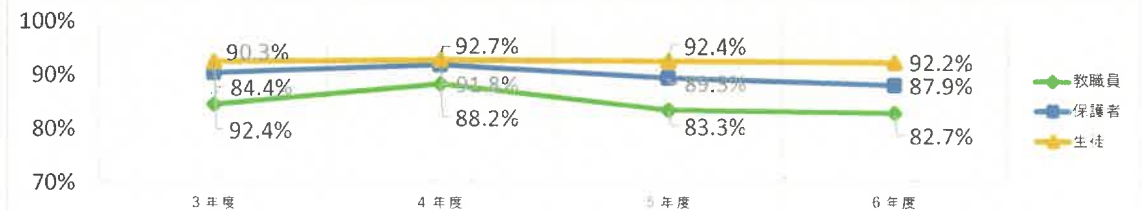
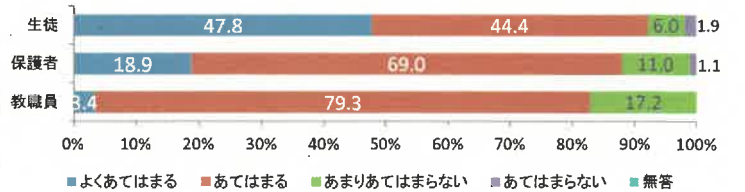
	あてはまる	あてはまらない
生徒	93.3%	6.7%
保護者	92.2%	7.8%
教職員	82.7%	17.2%



肯定的な回答について保護者・生徒からは90%台という高い肯定群に対して、教職員からは82.7%と前回より低下している。今年度は校則を生徒主体で見直した最初の年となったが、来年度以降、より一層規範意識を高め、集団の中でのルールの大切さを喚起していきたい。

⑤ 生徒は、友達や先生、近所の人にあいさつができる。

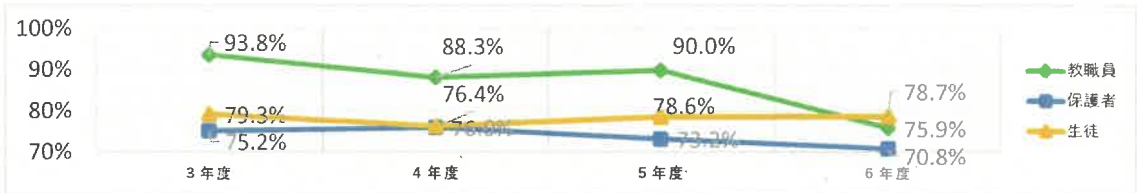
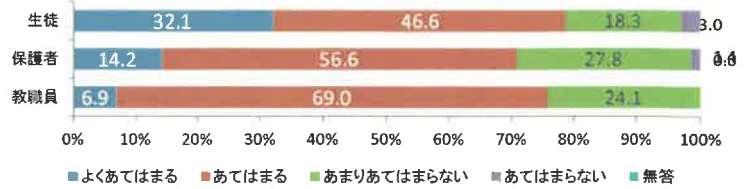
	あてはまる	あてはまらない
生徒	92.2%	7.8%
保護者	87.9%	12.1%
教職員	82.7%	17.2%



本校では生徒会を中心とした「あいさつ運動」に取り組んでいる。おおむね積極的にあいさつができているが、登校時の立哨では、声の小さい生徒や反応の薄い態度が見受けられた。全員が元氣よくあいさつができるよう呼びかけていきたい。

⑥ 生徒は、健康（食生活や運動）に気をつけ、規則正しい生活に取り組んでいる。

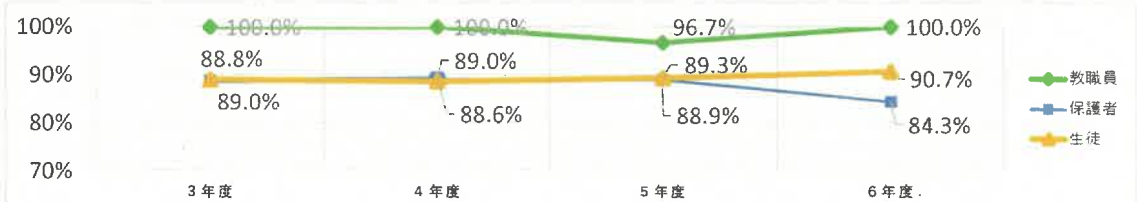
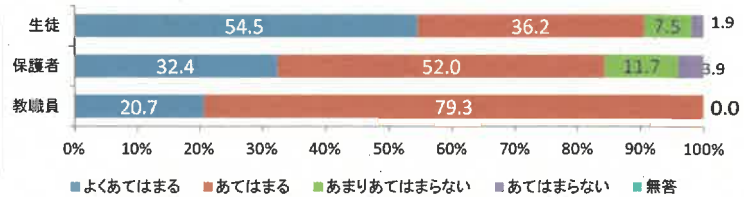
	あてはまる	あてはまらない
生徒	78.7%	21.3%
保護者	70.8%	29.2%
教職員	75.9%	24.1%



本校のソーシャルメディアポリシーとしてスマホの使用は22時までというルールで取り組んでいるが、遅くまでゲームをしたり、朝食を食べていなかったりする生徒も見られた。また、携帯電話の使用についても課題を感じている。SNSの利用について改めて学校からも積極的に発信し、家庭と連携して規則正しい生活が送れるよう今後も取り組んでいきたい。

⑦ 生徒は、学校の行事や部活動に積極的に取り組んでいる。

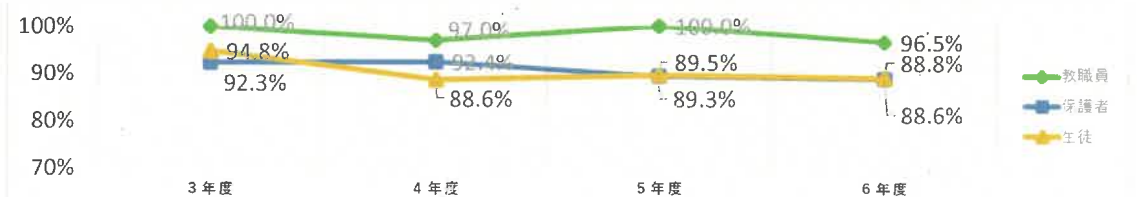
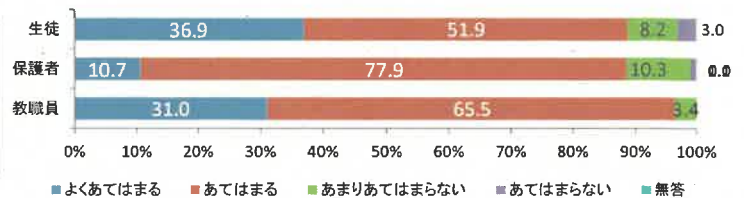
	あてはまる	あてはまらない
生徒	90.7%	9.3%
保護者	84.3%	15.7%
教職員	100.0%	0.0%



今年度も運動会や一中祭、合唱コンクールなどの学校行事にクラスが一致団結して生き生きと活動する様子が見受けられた。部活動では、多くの生徒が意欲的に参加しており、日々努力を積み重ねた成果が実を結びつつある。

⑧ 先生は、言葉づかいや礼儀正しい行動について指導している。

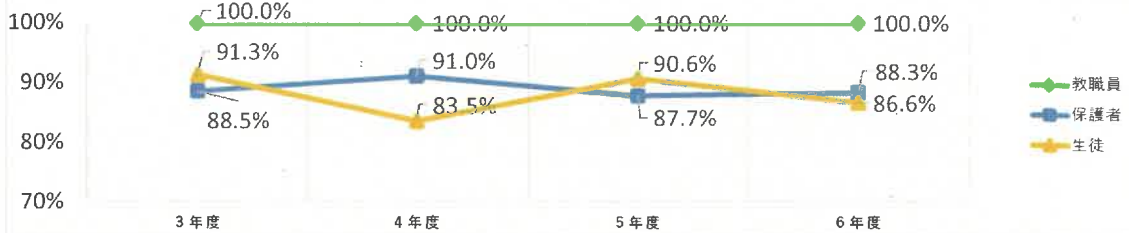
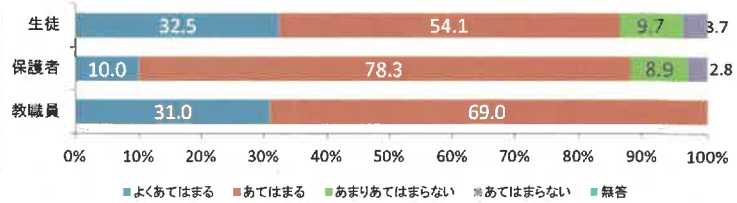
	あてはまる	あてはまらない
生徒	88.8%	11.2%
保護者	88.6%	11.4%
教職員	96.5%	3.4%



教職員は日頃の取り組みから高い割合の肯定群となっているが、生徒・保護者の割合が低くなっている。教職員が生徒の模範となるよう、日々の言動や行動に気をつけながら引き続き指導していきたい。

⑨ 先生は、好ましい交友関係（先輩後輩の関係、同級生との関係）になるよう指導している。

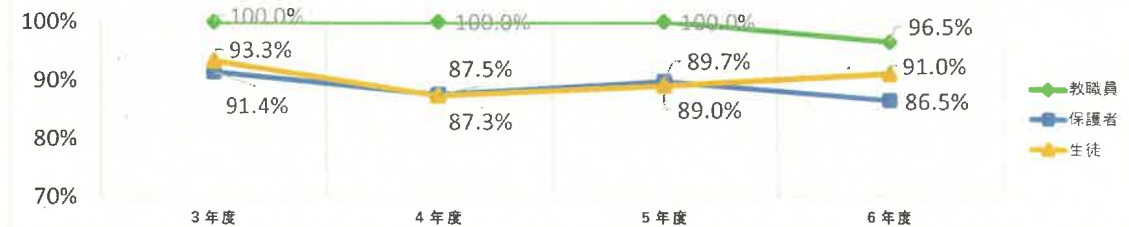
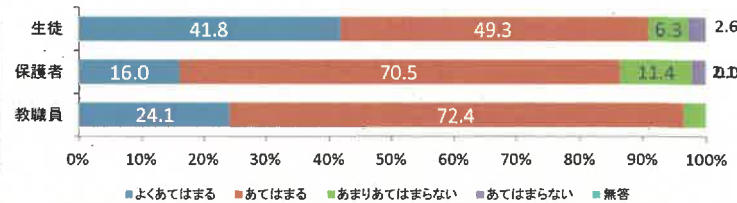
	あてはまる	あてはまらない
生徒	86.6%	13.4%
保護者	88.3%	11.7%
教職員	100.0%	0.0%



教職員は日頃の取り組みから100%の肯定群となっている。前回と比べて生徒の肯定群が低下している状況として、SNSのトラブルや休日の過ごし方が要因と推測される。今後も道徳の時間や日頃の生徒の様子を把握しながら、生徒理解に努め、保護者とも積極的に連携していきたい。

⑩ 先生は、生徒一人一人を大切に言葉がけをしている。

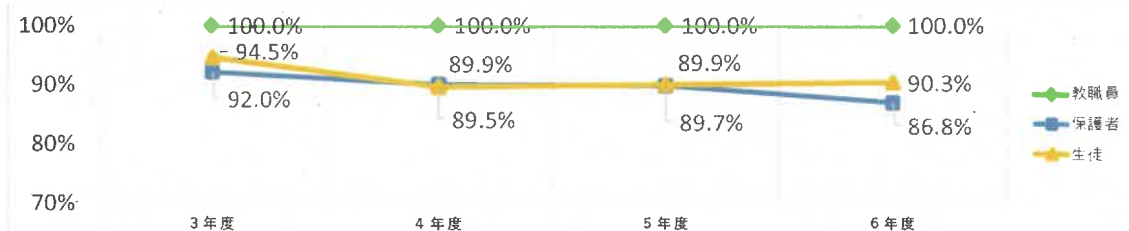
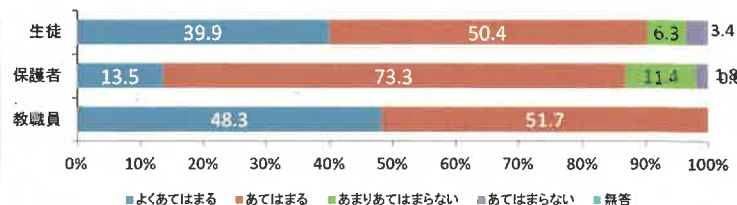
	あてはまる	あてはまらない
生徒	91.0%	9.0%
保護者	86.5%	13.5%
教職員	96.5%	3.4%



未来を担う生徒一人一人をかけがえのない存在として、生徒のやる気や成長につながる言葉がけができるように教職員に徹底していきたい。教師と生徒の信頼関係が醸成できるような会話を積極的に増やしていきたい。

⑪ 先生は、生徒からの質問や悩みの相談にきちんと応じている。

	あてはまる	あてはまらない
生徒	90.3%	9.7%
保護者	86.8%	13.2%
教職員	100.0%	0.0%

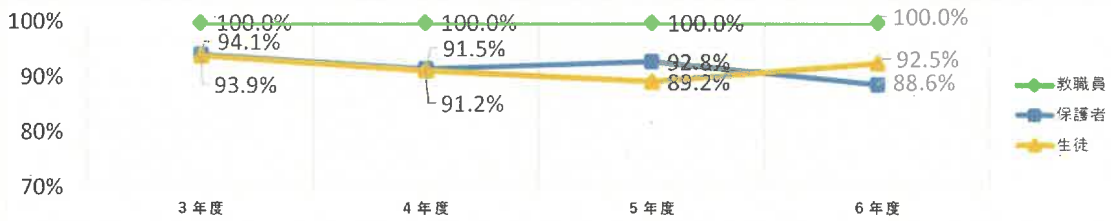
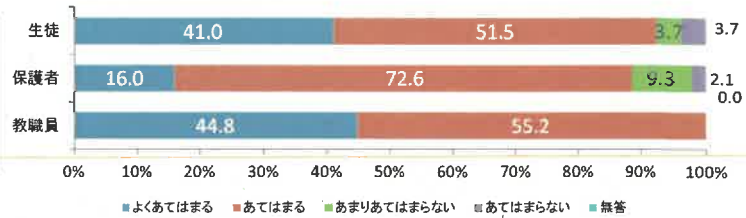


生徒・保護者ともに80%後半から90%程度の肯定群の回答であり、おおむね生徒との対話ができているように思われる。学級担任以外の教職員も生徒と気軽に会話ができる雰囲気があり、今後も互いを尊重し合う関係の構築に努めたい。



⑫ 先生は、保護者からの質問や悩みの相談があるときはきちんと応じている。

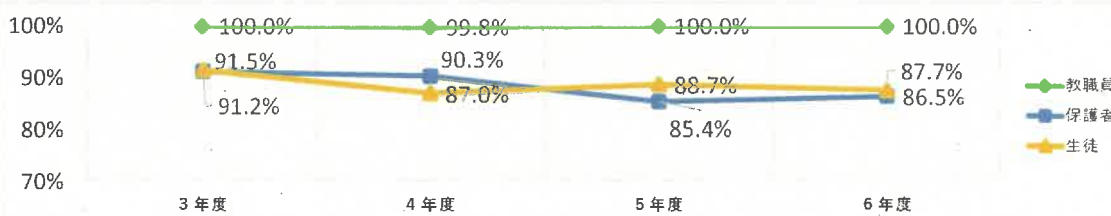
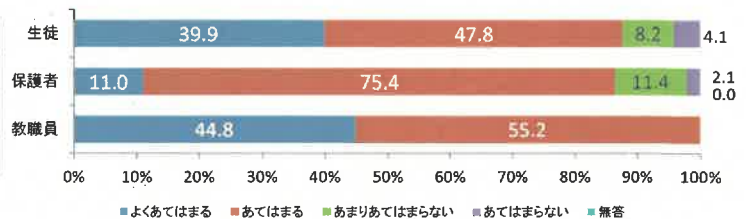
	あてはまる	あてはまらない
生徒	92.5%	7.5%
保護者	88.6%	11.4%
教職員	100.0%	0.0%



生徒の回答が90%を超えた肯定群となっており、教職員もまた日頃の取り組みから100%の肯定群となっている。今後も生徒の悩みに真摯に向き合うとともに、保護者との連携協力に努め、より一層信頼関係を深めていきたい。

⑬ 先生は、いじめやトラブルなど問題が起こったとき、適切に対応している。

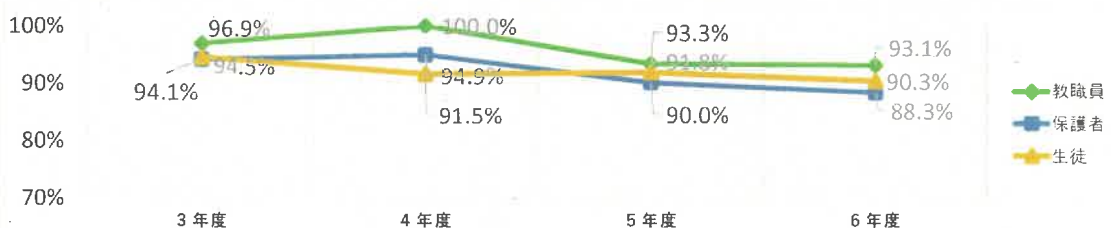
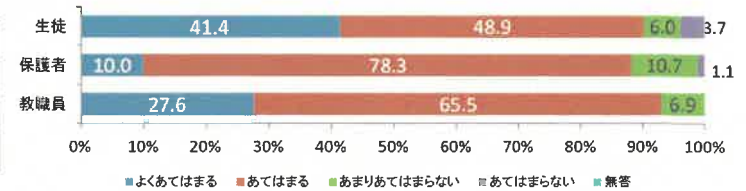
	あてはまる	あてはまらない
生徒	87.7%	12.3%
保護者	86.5%	13.5%
教職員	100.0%	0.0%



保護者・生徒ともに肯定的な回答が、86～87%となっている。今後も生徒たちが安心して学校生活を送れるよう取り組んでいきたい。また、できる限りトラブルを未然に防ぐよう指導するとともに、トラブルがあった場合には誠実に対応していく。

⑭ 学校は、安全で快適に生活したり学習したりできるような環境づくりに取り組んでいる。

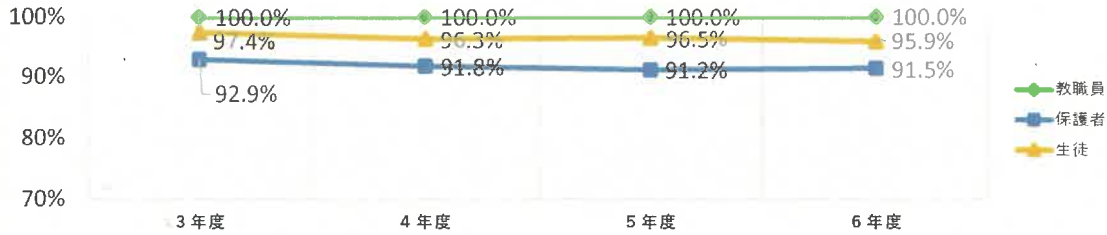
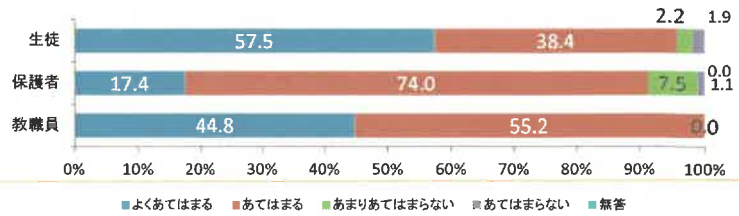
	あてはまる	あてはまらない
生徒	90.3%	9.7%
保護者	88.3%	11.7%
教職員	93.1%	6.9%



毎月20日を「学校安全の日」として施設・設備の点検を実施している。生徒は毎日の清掃に黙々と取り組んでおり、環境美化に努めている。教室環境や校内の掲示物等、教職員全体が協力して創意工夫あふれる充実した内容となっている。

⑤ 学校は、ボランティア活動などで地域とのつながりを大切にしている。

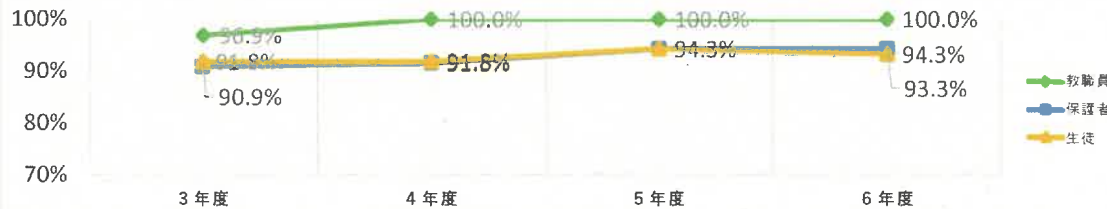
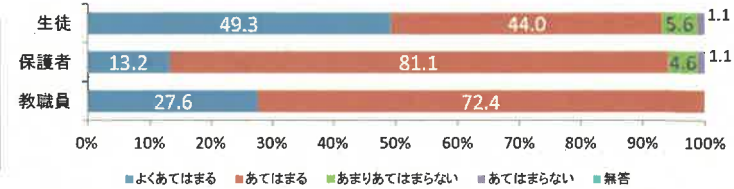
	あてはまる	あてはまらない
生徒	95.9%	4.1%
保護者	91.5%	8.5%
教職員	100.0%	0.0%



毎回100人前後の生徒がエコフレンドに参加し、地域の方とともに江川周辺の清掃活動を行っている。また第3水曜日には、鴨島自動車学校や阿波吉野川警察署と協力し「マナーアップ活動」に取り組んでおり、積極的に地域の方とのつながりを育てている。

⑥ 学校は、行事や学校生活が充実するように工夫している。

	あてはまる	あてはまらない
生徒	93.3%	6.7%
保護者	94.3%	5.7%
教職員	100.0%	0.0%

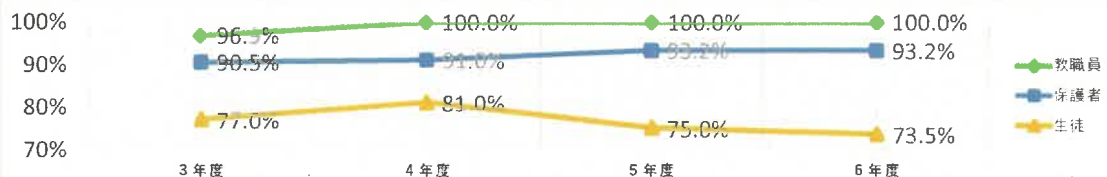
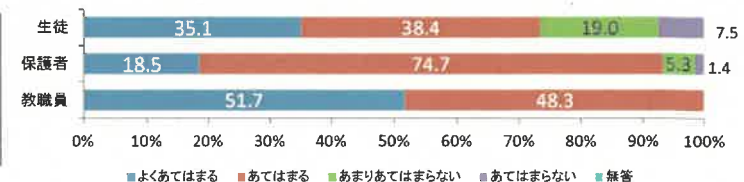


昨年度コロナ5類に移行して以降、学校行事・部活動等かつての活気を取り戻した。三者とも高い肯定的な回答が得られており、一中祭や合唱コンクールではたくさんの保護者の方に来ていただき、好評であった。

⑦ 私は、学校からの連絡プリントなどを保護者にきちんと渡して見せている。

⑦ 学校は、ホームページ・学年通信・保健だよりなどで学校の活動や生活の様子を知らせている。

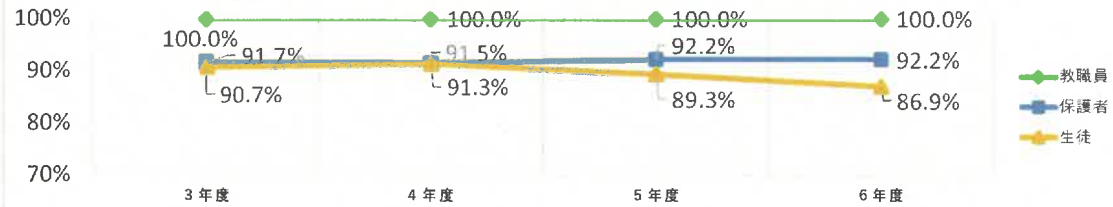
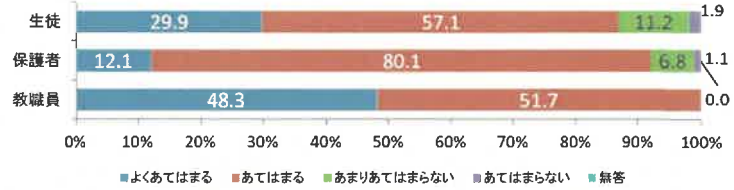
	あてはまる	あてはまらない
生徒	73.5%	26.5%
保護者	93.2%	6.8%
教職員	100.0%	0.0%



今年度から主要な学校連絡は、すべてマチコミメールによる通知に移行しており、このことが保護者からの高い肯定群につながっていると考える。しかしながら保健だよりや学校新聞等、生徒への手渡しによる配付物は現在も続いている。生徒から家庭へきちんと手渡す意識はここ数年横ばい傾向にあり、学校と家庭の相互連絡を生徒が担う意識の向上が課題である。

⑩ 私は、人権学習に意欲的に取り組んでいる。

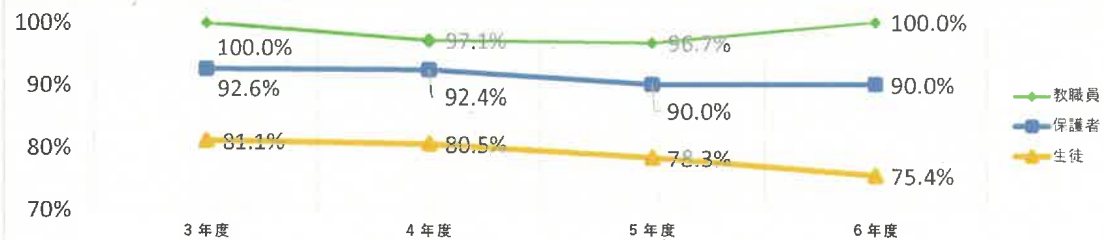
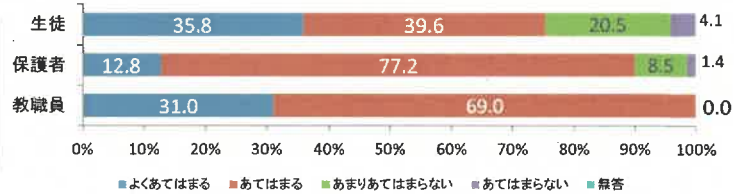
	あてはまる	あてはまらない
生徒	86.9%	13.1%
保護者	92.2%	7.8%
教職員	100.0%	0.0%



各学年の実態に応じて、どの学級も真剣かつ積極的に学習に取り組んでおり、教職員も互いに相談しながら、同一歩調で学習をすすめている。今後は人権学習の内容について学年通信を活用する等、家庭での人権啓発につながる手段を模索できればと考えている。

⑪ 私は、学習や生活の目標を立て、前向きに実行している。

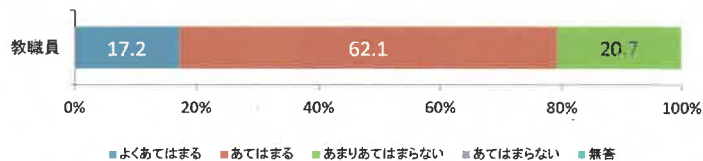
	あてはまる	あてはまらない
生徒	75.4%	24.6%
保護者	90.0%	10.0%
教職員	100.0%	3.3%



生徒からの肯定的回答が低下している。引き続き、目標を立てることの意義や計画の立て方などを指導する必要がある。また実行可能な計画を立てることにより、学習意欲の向上や部活動での達成感や成就感につなげる等、成功体験を積ませることができるようしていきたい。

⑫ 教職員は、「働き方改革」を意識して、部活動時間を設定するなどして仕事を行うことができる。

	あてはまる	あてはまらない
教職員	79.3%	20.7%



前回調査と比較して「あてはまる」と回答した割合が6%上昇した。目標管理面談において退勤時間を目標として設定したり、ICTを活用したりすることで、働き方改革を推進してきた効果と考えられる。今後も子どもの成長のため、教職員の心身の健康につながる働き方改革をさらに推進していきたい。